

施設紹介 今回は…森産婦人科医院です!!

報告) 山本 香織

当医院は高松市の中心、瓦町駅のすぐ横に位置する三代続く産婦人科医院です。患者様三代に、それぞれ三代の医師がお産に携わるという場合もあります。

当医院の特徴は県下で数少ない「計画無痛分娩」を行っている施設ということで。妊婦の状況により 37 週から 38 週の陣痛発来前に入院し、硬膜外カテーテルを挿入した後に陣痛促進をはかり、徹底したモニター管理を行いながら持続硬膜外鎮痛を開始する為、分娩第一期からほとんど痛みを感じることはなく、分娩終了まで笑顔で過ごせます。会陰もよく伸びるため会陰切開を入れることは少なく、裂傷も小さく褥婦の産後の侵襲は少ないです。一日一人限定でじっくり分娩に関わります。

鎮痛は行いますが母体の意識は完全に保たれているため、怒責も可能で出産の感覚・感動を得ることはでき、その点は普通の分娩となんら変わりません。厚生労働省認定の麻酔科標榜医の資格を持った産婦人科専門医が全てにおいて携わりますので安心です。

香川県下で無痛分娩を提供している施設は少なく、香川県全域に限らず最近では県外より時間をかけて通院され出産を希望される方も増えてきました。

分娩というのは社会的・伝統的な側面も大きく、古来より「お腹を痛めた子ども」という表現に代表されるように日本では痛みを伴って生まれることが普通であるとされてきました。一方欧米諸国では、分娩は女性のみが経験する痛みということで、社会的にも疼痛緩和を行う方向性が定着し、大多数の妊婦に無痛分娩が提供されているのが現状です。国際化の波は日本にも波及し無痛分娩を希望する妊婦は明らかに増加しています。

しかしながら、無痛分娩は重篤な母体合併症症例の報道にもありますように、その安全性が社会的な注目を集めています。そのような現状から、平成 30 年 3 月に厚生労働省海野研究班より「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」がなされました。妊婦や胎児の安全性の確保には、危機的状況の回避・異常の早期発見と治療、重大な事象が起きた場合の対応が必須で、どれが欠けても安全な無痛分娩を提供できません。

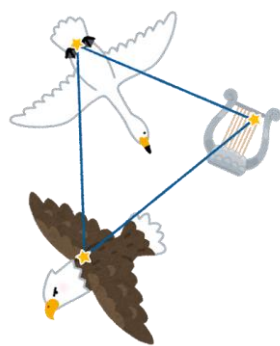
毎回大変緊張する現場ですが、安全・安心・安楽で記憶に残る良いお産

が提供できるようチーム一丸となりこれからも頑張りたいと思います。

追伸：退院時のアンケートで褥婦さんみんなが書いています。

当医院の一番の売りは「先生の実験」だそうです。

スタッフも負けてられないわ (笑)



分娩直前の余裕な表情♡

分娩直前に友人 3 人へ赤富士の絵を頼まれて書きました。3 人中 2 人が見事妊娠中だそうです。赤富士パワーすごい!!



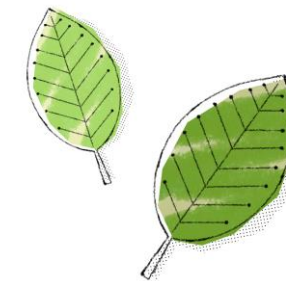
とらうべ通信 2019. 8月号 No.91

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176
発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 宮本 政子

今年の西日本の梅雨入りは例年になく遅いもので、また異常気象の前触れかと少し不安になります。この原稿執筆中にも九州地方の豪雨のニュースが伝えられ「自分の命は自分で守る」が今年の流行語になりそうな予感がします。



さて、会員の皆様には日々香川の母子保健にご尽力いただき、感謝申し上げます。令和元年度の香川県助産師会総会を 5 月 19 日に香川県文書館で開催しました。今年は任期満了役員が多かったのですが、永らく理事として助産師会に貢献いただいた田中幸子副会長と総務の佐々木三千代理事が退任されました。これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。新任役員(理事・委員)につきましては別途掲載させていただきますのでご確認いただき、今後ともご協力をお願いします。

5 月 23 日から 3 日間栃木県小山市で第 92 回日本助産師会総会関連会議が開催されました。今号に部会集いや学会の様子も併せて掲載しておりますのでご覧ください。総会では議事に先立ち会長表彰があり、香川県で



は監事や推薦委員を歴任された原田好美姉が受賞されました。おめでとうございます。日本助産師会の動向では山本詩子会長が 2 年 1 期をもって退任されました。大変エネルギーに活動されており残念に思いますが、会長が経営している助産所を守るためというお話でした。今分娩を取り扱う助産所の閉鎖がとて増えています。経営する助産師の高齢化と後継者不足が原因と言われてはいますが、それだけでは無いと思います。少子化による分娩の減少に加え、高齢妊婦などハイリスク妊婦の増加が関連しているのではないのでしょうか？今国の事業は「産後 2 週間健診や産後ケア事業の充実」などに重点を置いています。助産所が分娩以

外の事業費として国等の事業費を取り込めるように働きかけてゆくことが求められ、日本助産師会では関係省庁へこうした要望を行っています。そして 2019 年度の重点事業として多職種との連携、人材育成、組織強化、助産師のケアの質向上などを挙げております。香川県助産師会でもこの事を念頭におき、助産師が専門職として自立(律)できるような支援団体としての活動を推進できればと思います。

トピックス①

緊急避妊薬のオンラインでの処方条件付きで了承

厚生労働省での検討会において、望まない妊娠を防ぐ緊急避妊薬のオンラインでの処方を条件付きで実施できるようにすることを了承されました。地理的な要因や心理的な状態によって対面診療が困難と判断された女性に対し、産婦人科医など限られた医師が処方できます。今後、厚労省はこうした内容を盛り込んだ指針を公表する予定です。

総会報告

2019 年度 公益社団法人日本助産師会通常総会に参加して

報告) 多田 鈴子

2019 年度第 92 回通常総会、第 75 回日本助産師学会が 5 月 23 (木) 24 (金) 25 (土) の 3 日間にわたり栃木県小山市で開催されました。

1 日目は小山グランドホテルで 3 部集会が行われました。私の参加した勤務部会では、保健指導の標準化を目指して何回も勤務部会で話し合いが行われたものが「妊娠中の標準的な健康教育」という冊子になって漸く形になり、その内容や使用方法などについて説明がありました。その後産後ケアの取り組みをすでに実施している 2 施設から報告がありました。どちらも様々な条件がある中で満足度の高いケアを目指して努力している姿が印象的でした。

2 日目は小山市立文化センターで通常総会が開催されました。今年度は山本詩子会長が 1 期で退任され、それに伴い会長選、副会長選が行われました。代議員の方々が厳粛な選挙を行い、新会長には島田真理恵氏、副会長に安達久美子氏・田口真弓氏が選出されました。その後、総会の最後で新会長より、さらなる助産師会の発展を目指していこうと御挨拶がありました。

3 日目は第 7 5 回助産師学会がメインテーマ「複雑化する母子と家族を支える助産師力」のもと、盛大に開催されました。特別講演は北里大学医学部産科学教授の海野信也先生、教育講演は山梨大学総合研究部成育看護学講座講師の浅野浩子先生からあり、それぞれ大変勉強になり視野が広がったと思います。ポスターセッションでは 3 4 題中香川県から 4 題も発表を行い、地域に密着した活動を行っていることが再確認できました。また、3 日間にわたり栃木県助産師会の会員の皆様の献身的な暖かいおもてなしの心を感じ、こちらでも暖かい気持ちになりました。名産の結城紬でお出迎え下さり、目でも楽しませていただきました。栃木県は初めて訪れたのですが、東京からも意外に近く、その割には思川が流れるのどかな田園風景もあり、くつろげました。近くには温泉もあるとのこと、抄録集やパンフレットの表紙に使用されていた思川桜はこちらの固有種とのことで、ソメイヨシノよりも色が濃く、実物はさぞかし写真よりも美しいんだろうなと思います。次回はぜひ観光でも訪れてみたいと思いました。懇親会では小山市長の小山愛あふれる祝辞にほっこりし、総会ならではと思います。来年は松山市 再来年は沖縄で開催予定です。ぜひ一緒に行きましょう！



カレン・ギリランド氏招聘講演会

「助産師の自律・自立」～女性と子どもたちのために～に参加して

報告) 牟禮 実里

2019 年 4 月 20 日、ニュージーランド助産師会事務局長として 30 年以上ニュージーランド助産師会を牽引されてきたカレン・ギリランド氏による講演会が保健医療大学にて開催されました。「My 助産師制度」のモデルでもある Lead Maternity Care (LMC) 制度、ダイレクトエントリー教育制度、助産師の団結、女性と助産師のパートナーシップ実現のためにどのように行動されてきたのかや仕組みについて講演されました。

ニュージーランドでは自分が選んだ担当者 (LMC) によって妊娠から出産、産後 6 週間まで継続したケアを無料 (政府負担) で受けられます。主治医、産科医、助産師から選択できますが 92%以上が助産師を選ばれるそうです。LMC 助産師の提供しているサービスは授乳育児のアドバイ



スやサポートなどだけではなく、正常妊娠に必要なとされる薬 (避妊や抗生物質) の処方もできるそうです。このような高い専門性や自立・自律した助産師を育成するための助産師教育や「助産師」としての地位を確立するための活動など目を見張る内容でした。

ニュージーランドでの様々な改革・活動を知ることができ、「日本において今自分にできることはなんだろうか」と考える機会になるような講演会でした。

「日本より小さいニュージーランドで、このような改革ができたのだから日本でも絶対にできる。日本にはもともと産婆という素晴らしい存在がいたのだから。」という心強い言葉をいただきました。現在日本で産後うつ病など精神的健康を損なわれた女性が増加しており助産師の継続的ケアは今一層求められています。「今こそ動くときです！」と強く話されていたのが印象的でした。



研修会報告「最新の胎児超音波診断」

報告) 加藤 淑美

5 月 1 9 日、(一社) 香川県助産師会総会が開催され、午後より香川大学名誉教授 秦利之先生をお迎えして「最新の胎児超音波診断」をテーマに貴重なお話を伺うことができました。講義の内容はすべてが興味深く、最新の研究内容ということでも学びの多い講義でした。

その中で、「単胎児と双胎児の行動の違い」については胎児の全身運動や、表情の変化などより双胎児のほうが脳神経機能の発達が促されているのではないかと、また「胎児末梢血管」を描写することにより今後、胎児の肺成熟度、子宮内感染や FGR など様々な臨床に生かせる可能性があるということなど伺いました。超音波検査の進歩によりリアルな描写が可能となり診断精度が向上しています。実際、胎児異常の実際の画像を拝見し、超音波検査に携わる助産師として検査の重要性・責任を改めて感じさせられました。毎日当たり前に行われている超音波検査は胎児が正常に発育しているかを確認する手段であると同時に一般的に言われる「出生前検査」という目的も忘れてはいけません。周産期医療に関わるものとして、超音波検査技術の向上のみならず、遺伝カウンセリングの知識・情報も獲得し妊産婦さんに関わる必要があると感じました。

秦先生は香川医科大学産婦人科に赴任してから 2 0 年の長きにわたり香川県の周産期医療に携わられました。香川は日本一小さい県なのに総合周産期母子医療センターを東と西に配置し周産期医療のレベルを日本一にまで引き上げられた功績は大なるものがあります。また毎年県内 2 か所の周産期センターが私達周産期に携わる者に香川県と共催で周産期研修会を開いてくださり、身近に研修を受けることができる者としては大変うれしいことでありこれも先生に感謝したいことのひとつでもあります。秦先生は今岡山の産科クリニックで妊婦さんたちに楽しく健診をされているそうです。本当にありがとうございました。



素敵な助産師さん、見~つけた!



今回は...保健指導部会「宮武律子」さんです!



皆さんこんにちは。多田羅さんよりバトンを受けました宮武律子です。入会してまだ間もない新参加者ですがよろしくお願ひします。私は生まれも育ちもまんのう町の田舎です。今は丸亀市で家族4人暮らしています。実家が農家ということもあり、今でも田植えの時期には田植え機に乗って手伝いをしています。(笑)高松赤十字看護専門学校を卒業後に大阪府立助産婦学院で助産を学び、高松赤十字病院で18年間お世話になりました。在職中はよき先輩や後輩に恵まれ、仕事が終わって分娩介助がどうすればもっと上達するのか、どうすれば対象の方によりよいケアを提供できるのかを皆で話をすることが大好きでした。退職した今でもかけがえのない存在です。入院中の短期間でお母さんや赤ちゃんに関われる時間は限られています。退院後の母子に寄り添える助産師になれればよいと考え、

只今地域での赤ちゃん訪問に行かせて頂き学ぶ事が多い日々を過ごしています。病院での分娩介助は、緊張の中あれ程感動できる場はないと思っており、大好きです。しかし、今は自分で選んだ地域で先輩方から沢山の事を教えて頂き、お母さんと地域をつないでいける助産師になりたいと思っています。少しでも助産師宮武が赤ちゃん訪問に来てくれてよかったと思われるような助産師でありたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、どうぞこれからもよろしくお願ひします。

そこにいて、その場が和む雰囲気。ぶれない芯があり、安心感抜群です!! (同僚 K さんより)



トピックス②

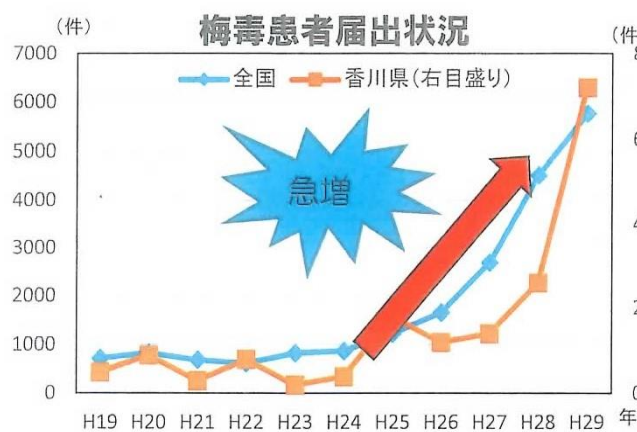
梅毒が急増しています!

全国的に梅毒の報告数が急増しています。香川県内においても平成29年は72件と前年の3倍の報告となっています。梅毒は性的な接触などによりうつる感染症です。早期の薬物治療で完治が可能ですが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

●予防のためにできること

- ・不特定多数の人と性行為はしない
- ・性行為(膣性交・オーラセックス)、肛門セックス時は必ずコンドームを使用する
- ・皮膚や粘膜にしこりやただれなどの症状があった場合は性的な接触は控え、早めに医療機関を受診する。

(香川県中讃保健福祉事務所 HP より引用)



今年も開催します!! 「いいお産の日」記念イベント

県内の医療従事者、妊産婦、家族、育児サークルなど、様々な立場の人と共に“お産や子育てを語るつどい”として平成9年から毎年開催しており、今年も「いいお産・みんなで子育て～あなたのそばに助産師がいます～」をテーマに23回目を迎えます。会員の皆様にはいつもご協力いただきありがとうございます。

高松会場 令和元年11月4日(月・振替休日) 12時30分～15時30分 いのちの応援舎

メインイベント: 助産師と語る「産婆(さんば)由紀子のいのちのおはなし」

丸亀会場 令和元年11月10日(日) 9時30分～13時00分 岡田コミュニティセンター

メインイベント: 紙芝居「生まれてきてくれてありがとう」

その他、体験コーナー(沐浴、赤ちゃんのお世話、妊婦体験ジャケット他)や身長・体重計測、ベビーマッサージ等の教室、相談コーナー、施設紹介など盛りだくさんな内容になっています。

9月上旬にチラシを配布予定です。会員の皆様、広報にもご協力をお願いいたします。

お知らせ

・2020 中国・四国地区助産師研修会が香川県開催のため特別委員会が発足します。今回も県内の助産師一丸となり準備してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

・すこやか会のお知らせ 9月8日(日)13:30～研修後の開催です(お弁当付・出欠締め切り8月末)



～今年度の研修会及び行事～

日時	研修会・行事	場所
9月8日(日) 9:30～12:30	災害時の対応 ※1 香川県危機管理総局危機管理課 住瀬 椋亮 小豆島中央病院 助産師 山本佳子	いのちの応援舎
9月21日(日) 10:00～16:30	中国・四国地区助産師合同研修会 ※2 メンタルヘルスケアワークショップ in 徳島 主催: 中国・四国地区看護協会助産師職能委員会	徳島県 JA 会館
10月5・6日	中国・四国地区助産師研修会	島根県米子市
10月11・12日	第60回日本母性衛生学会	千葉県浦安市
10月20日(日) 9:30～12:30	母乳育児支援と授乳期の乳がん 助産院ゆるり IBCLC 鈴木佳奈子 他	いのちの応援舎
12月7日(土)	香川母性衛生学会	
1月26日(日) 9:30～12:30	新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース 香川県立保健医療大学准教授 竹内美由紀 他	香川大学 スキルラボラトリー
2月9日(日) 9:30～12:30	妊娠期から授乳期における栄養摂取と食事 三木町健康福祉課 管理栄養士 久米川知希	いのちの応援舎

※1 「災害時の対応」研修会参加費は会員500円、非会員1000円となっています。参加お待ちしております。

※2 メンタルヘルスケアワークショップは参加費1000円です(申し込み締め切り8月末事務所まで)